

あなたとまちと フェイス to フェイス



ごあいさつ

平素は、私ども中兵庫信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

ここにお届けします「中兵庫信用金庫の現況」は、平成26年度の業務活動や業績の推移を中心に、地域とのかかわり等をわかりやすく編集したものです。ご高覧の上、〈なかしん〉に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

昨年度の日本経済を振り返りますと、年度当初は消費税率引上げに伴う個人消費の落ち込みや、設備投資の伸び悩みによる景気の減速感が見られました。その後は駆け込み需要の反動の影響が和らぎ、個人消費の持ち直しがみられる中、為替円安・原油安に加え、日経平均株価の上昇といった外部環境の変化を背景とした大手企業の業績改善が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。当金庫の営業エリアにおきましても、緩やかながら少しずつ景気の回復が感じられるようになりましたが、円安による原材料の高騰などから業種や地域によりましては依然として厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中、おかげさまで当金庫は、預金残高で78億円の増加、貸出金残高で5億円の増加となり、収益面におきましても、当期純利益1,551百万円を計上することができました。また、経営の安全性・健全性の指標である自己資本比率は24.12%となりました。これもひとえに、地域の皆さまからの温かいご支援の賜物と心より厚くお礼申し上げます。

平成27年度も、地域金融機関として、きめ細かな営業活動を通してお客様との絆を深めるとともに地域との連携を図りながら、皆さまにご満足いただける金融サービスの提供に全力で取り組んでまいります。

今後とも、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのますますのご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げます。

平成27年7月

理事長 足立 厚郎